



く せ ん 薫 泉

学校の目標
社会の変化に自ら対応でき、豊かな心を持ち、表現力豊かな国際人を目指し、次のような子どもを育成する。
・よく考え、進んで学習する子ども
・いつも元気で、しようぶな子ども
・こころ豊かで、やさしい子ども

「子どもは球体」という考え方

校長 井上光広

私が二十歳の大学生の頃、教育学部の仲間たちとともに、様々な学校と交渉し、学校見学をさせていただいたことがあります。その中で、瑞穂町立第三小学校を訪問した時のことです。当時、この学校は日本の教育界では大変に有名な斎藤喜博先生の教育方針を引き継いでいました。全学級が毎日合唱に取り組み、体育や国語の表現活動を一貫して行う指導をされてきました。見学の最後に、校長先生と懇談する機会をいただきました。その時、指導していただいた子どもの見方が私の原点になっています。

「子どもは球体であるといえる。つまりコロコロ転がるボールのようだ。ある時は素晴らしい姿を見せる。ある時はダメな姿も見せる。ちよつと転がれば、長所・短所どちらを見せるか分からない。だからすべてが良いという子もいないし、すべてが悪いという子もいない。私たち教師は、このボールに癖をつけてあげるのだよ。コロコロ転がっても、最後には良い面を見せるような子どもに育てていく。皆さんも子どものすべてを受け止められる教師になってくださいね。」

この考え方は、三十年以上たった今でも通用する普遍的な教育哲学だと思います。

これと似たような考えで、松下幸之助氏の言葉に次のようなものがあります。

『あの男は、文句ばかり言っていて困るんだ』と言われた人が、縁あって私の会社に入るとけっこ

う頑張る。よそでは欠点だとされていたことが、うちでは長所になる。それは短所を気にせず、長所だけ見て使うということであつたからだと思います。これはそう難しいことではないと思います。そのことよつて、人が育つか育たないかということが決まる一面があるわけです。」

私たち大人が、子どものことをどう見るかによつて、長所を伸ばしていけるということです。教師の見方がブレないようにするために、学校教育目標や学校経営方針があります。私の学校経営方針の柱は「子どもの心の宝さがし」「教師は最大の教育環境である」の二点に焦点化しています。
貴重な体験となつた矢口魂心丸乗船企画



九月十日から十五日まで、開校一三〇周年企画として「矢口魂心丸乗船体験」を実施しました。

この船は、第二十七代・高橋利夫校長先生の時代である二〇〇四年に、六年生のものづくり学習として、船大工さんやカヌークラブなど専門家の指導によつて造つたもので、二〇〇五年三月には実際に六年生を乗せて多摩川を渡つた歴史的財産です。今回は、水深六十センチメートルにしたプールで、保護者ボランティアの方々の方に船をひいてもらい、希望する児童全員が乗船できました。ご協力くださった保護者の皆様、本当にありがとうございます。
八幡宮たくさんいのつた夏の空 (入選句)

六月に五・六年生が鎌倉実地学習に行きました。その際、五年生は「鎌倉俳句&ハイク」というコンクールに応募しました。三千句を超える中から、中根脩吾さんが見事に入選しました。

子どもたちの健康

養護教諭 笹渕明日香

二期期に入つて一か月がたち、少しずつ学校の生活リズムに戻つてきたようです。しかし、中休みには元気な子ども、朝、玄関で迎えるときは眠そうな表情をしていることが多いです。話を聞くと、宿題や習い事をしたり、インターネット動画を見たりして、就寝時間が遅くなつてしまひ、寝不足が続いているようです。タブレットでの学習が本格的になり、便利な反面、集中すると長い時間画面を見てしまうこともあります。夜暗くなつてくると、眠りに導くメラトニンというホルモンが分泌されますが、スマホやタブレットの光によつて、脳が「昼間だ」と錯覚してメラトニンの分泌量が抑制されてしまひ、脳が覚醒されて、質の良い睡眠がとれなくなつてしまひます。寝る前の二時間は明るい光を見ないようにし、入浴でゆっくり疲れをとり、リラックスした状態で布団に入れると良いですね。五月の生活ふりかえり週間では、早寝の目標に達せない子が多く見られました。十月の生活ふりかえり週間では早寝を意識して過ごしてほしいと思います。

『ともだちを大切にしよう』

生活活指導部

「ふわふわ言葉」と「チクチク言葉」という言葉をご存じでしょうか。相手の気持ちを良くする言葉と相手を傷つけてしまふ言葉です。ついカツとなつてチクチク言葉が出てしまふこともあるかもしれません、イライラした時や怒つて咄嗟に口に出してしまひそうな時こそ、心で六秒数えて気持ちを落ち着かせたいですね。普段から、相手のことを考えて言葉を選ぶと、習慣になつて相手へ思いやりの気持ちをもち、相手が誰であれ、「ふわふわ言葉」をたくさん使つて手本を見せていきたいものです。